

香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告(その4)

長谷川 修 一
鶴 田 聖 子

1. はじめに

ジオパークは、土台となっている大地（ジオ）、生態系（エコ）、人の活動（ヒト）とのつながりを理解し、地域の地球活動の遺産を保全しながら、ジオツーリズム等によって地域の持続可能な発展をめざす活動である。

日本のジオパークには、ユネスコの正式事業活動であるユネスコ世界ジオパークと、日本ジオパーク委員会が認定する国内版の日本ジオパークがある。ユネスコ世界ジオパークは国際的な地質学的重要性を有するサイトや景観が、保護・教育・研究・持続可能な開発が一体となった概念によって管理された、単一の統合された地理的領域で、地域社会を巻き込みながら保全と持続可能な開発を行うことを目指している¹⁾。

2024年1月現在、日本ジオパークに46地域が認定され²⁾、このうち10地域がユネスコ世界ジオパークに認定されている。四国では、室戸がユネスコ世界ジオパークに、四国西予、土佐清水が日本ジオパークに認定されている。また、三好ジオパーク構想は日本ジオパークの認定を目指している²⁾。

香川県の大地は以下の地球大変動によって形成され、変動帯の大地と人の暮らしを考えるモデルになる地域である。①1億年前の大規模なマグマの活動による花こう岩の形成、②1,400万年前の瀬戸内火山活動によるサヌカイト等に特徴的な火山岩の形成、③300万年前からの中央構造線による讃岐山脈－讃岐平野－瀬戸内海の形成。特に、約1400万年前の瀬戸内火山活動によって形成されたサヌカイト等の火山岩類の世界的な学術研究、火山岩類が侵食されて形づくられた残丘が織りなす讃岐平野と備讃瀬戸の造形美および里山や島の岩石を利用した多様な石の文化は、世界的にユニークなジオパークになる可能性がある。

筆者らは讃岐ジオパーク構想の推進を目的に、2010年から現在まで継続して香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」を開講し、香川県内の地形・地質と石の文化の魅力を発掘し、讃岐ジオパーク構想に必要なジオサイトの資料を作成するとともに同志の輪を広げてきた^{3) 4)}。2013年度までの成果は香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」（長谷川・鶴田、2013）⁵⁾にとりまとめた。2014年度と2015年度は「讃岐ジオサイト探求」を開講し、地形・地質と自然・歴史・文化等との関わりを理解しながら現地を探訪した（長谷川・鶴田、2017）⁶⁾。2016年度からは「讃岐ジオガイド養成講座」を開講し（長谷川・鶴田、2018）⁷⁾、受講生のうち認定された23名（小豆島2名、東讃地区5名、高松市8名、中讃地区5名、西讃地区3名）が讃岐ジオガイドとして活動している。2019年度試行した「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、2020年度から本格開講し⁸⁾、現在も継続して開講している^{10) 11)}。

今回、2022年度に引き続き、香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」を連携して実施したので、その概要を報告する。

2. 香川大学公開講座

2.1 概要

「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は、香川県内の主要なジオサイトを訪ね、大地の成り立ちと歴史・文化との関わりを考えるとともに、同志の輪を広げていく講座である。また「讃岐ジオガイド養成講座」で認定された讃岐ジオガイドが事前に見学・リハーサルを実施して、コースやガイド方法の改善を行う。講座当日は受講生を案内後、受講者にアンケートを行い、次のガイドに活かすようにしている。

2.2 2023年度香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」

2023年度の香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」では、香川県の多様な石の文化に焦点を当て、年代、場所による石の違い、歴史が紡いだ石の役割を、その地域の大地の成り立ちから考えた。

(1) ガイダンス・石器時代から使われていた讃岐の石サヌカイト（坂出市）

- ①探訪日時：2023年4月23日（日）
- ②受講者数：28名
- ③講師：長谷川修一
- ④連携：香川県資源研究所 前田宗一氏、サヌカイト奏者 林千景氏
- ⑤お題：なぜ金山はサヌカイトの里になったのか？
- ⑥行程：午前 講義：讃岐と備讃瀬戸の石の文化（長谷川修一）
午後 坂出駅南口集合→けいの里見学→八蘇場の清水→白峰宮・天皇寺→JR八十場駅
- ⑦内容：サヌカイトが石器時代に西日本全域で石器として使われた理由を考えるとともに、サヌカイトの活用方法について学んだ。
- ⑧アンケート結果：(図1)

講座は大変満足13名、満足4名と好評であった。「金山には来たことがあったが、けいの里のことは知らなかった」「色々なサヌカイトを知れてよかった」等、普段行くことのない「けいの里」でのサヌカイト演奏、楽器の説明などが面白かったようである。また、「電車利用のジオ探訪」がよかったと、普段乗らない列車も特別感があったようである。サヌカイトの音については「ヒーリングミュージックとして様々な場所で使われることをのぞむ。2025大阪万博でもぜひBGMとして使用してほしい。サヌカイトコーナーがあればと思う。」等、サヌカイトが注目された。

(2) 古墳時代の石棺から近代化遺産までの鷺ノ山石の文化（高松市・綾川町）

- ①探訪日時：2023年5月14日（日）
- ②受講者数：26名
- ③講師：長谷川修一
- ④ガイド：今岡幹典、宮崎誠司、山西輝美、山下直樹
- ⑤連携：(有) 鷺ノ山石材商会社長 兔子尾大 氏
- ⑥お題：古代の鷺ノ山石はなぜ近代に復活したのか？
- ⑦行程：高松市国分寺B&G海洋 センター体育館駐車場 →石船天満宮・石舟石棺→鷺ノ山丁場→

鷺ノ山石材商会（鷺ノ山石材工業変遷と加工の歴史）→春日神社の石造物→高松市国分寺B&G海洋センター体育館駐車場（移動）綾川町役場駐車場集合→滝宮天満宮→滝宮神社→琴電綾川橋梁（近代化産業遺産）→滝宮公園→滝宮橋（土木学会土木遺産）→綾川町役場

⑧内 容：高松市鷺ノ山で採石場を見学し、鷺ノ山石材の歴史を学んだ。また、古墳時代の石棺である石舟石棺を観察し、当時の石棺の運搬方法について検討した。午後からは綾川町に移動し、綾川町にはなぜ鷺ノ山石材の石造物が多いのかを考えた。

⑨アンケート結果：(図2)

講座は大変満足11名、満足8名、ふつう1名と概ね好評であった。「鷺ノ山はよく前を通っていたが、そんな歴史があったとは驚きだった。」「地元に住んでいながら鷺ノ山石のことは全く知らなかった。現地を見ながらたくさん鷺ノ山石のことに触れ見て勉強になった」等、石材のこと、地元の文化のことを知ることができて満足だったようである。一方で、「お題の「なぜ」の部分をもう少し掘り下げたい」「歩く距離が長い。」等の問題点も挙げられた。

(3) 雨滝山・火山（ひやま）と中世の火山（ひやま）石の文化（さぬき市）

①探訪日時：2023年6月4日（日）

②受講者数：27名

③講師：長谷川修一

④ガイド：岡田武久、友國和俊、松岡太、亀井満夫

⑤連携：雨滝自然科学館館長 森繁 氏、さぬき市教育委員会 山本 一伸 氏

⑥お題：古墳時代の石棺に使われた火山石は白粉石か？

⑦行程：雨滝自然科学館→花崗岩に貫入した黒雲母デイサイト→峠の花崗岩→赤色安山岩→西教寺奥の院→柱状節理のある安山岩→瓶盥（びんだらい）→雨滝自然科学館→さぬき市歴史民俗資料館

⑧内 容：雨滝山、火山に産出する岩石を確認した後、西教寺奥の院に使われている凝灰岩の摩崖仏等を見学した。さらにさぬき市歴史民俗資料館に展示している石棺はどんな石でできているかを確認した。

⑨アンケート結果：(図3)

講座は大変満足11名、満足11名と好評であった。「石棺にも鷺ノ山石、火山石と違いがあることがわかった」と5月に見学した鷺ノ山石棺との違いを理解してもらった。「山中を歩きながら、花崗岩の上に凝灰岩、安山岩がどのように重なっているか見学できた」ことがよかったと感想をいただいた。

(4) 伊吹島の石の文化（観音寺市）

①探訪日時：2023年10月8日（日）

②受講者数：24名

③講師：長谷川修一

④ガイド：篠原五良、前川久則

⑤連携：伊吹島研究会 三好兼光 氏、有限会社 松本水産

⑥お題：伊吹島の石造物や石垣はどここの石を使っているのか？

- ⑦行程：県立琴弾公園→有明浜→観音寺港→真浦港→いりこ加工工場→島四国の石仏→真浦港の防波堤→切石の石垣→旧伊吹小学校→伊吹八幡神社→平井の井戸→ゼンネの泉→伊吹島民俗資料館→天神社→泉蔵院→荒魂神社・西の堂→宮目の大石→赤色安山岩→真浦港→観音寺港→県立琴弾公園
- ⑧内容：伊吹島をまわって、使われている石造物や石垣はどこの石かを考えた。火山噴火の実験で噴火直後のイメージが湧き、実際の地質をみてどのようなことが過去に起こったのかを想像しながら探訪した。

⑨アンケート結果：(図4)

講座は大変満足17名、満足6名と好評であった。「実験がとてもすばらしく、わかりやすかった」と噴火実験と現在の様子がわかりやすかったようである。また、「すごい歴史・文化を持っていることを知り、魅力を感じた」「水がでない伊吹島の苦勞、大変さを知りました」との感想もあった。さらにイリコのお土産があったことで、「食（イリコ）とジオが関連していたことが理解できた」とたくさんの方に感想をいただいた。

(5) 中世の天霧石の文化（善通寺市）

- ①探訪日時：2023年10月8日（日）
- ②受講者数：26名
- ③講師：長谷川修一
- ④ガイド：都築克徳、山本和彦、大川義明、山下直樹、岡本幸晴、鈴木一伸
- ⑤連携：善通寺市教育委員会 松浦暢昌学芸員
- ⑥お題：なぜ五岳の丘付近はキウイ栽培がさかんなのか／なぜ有岡地区は王家の里になったのか？
- ⑦行程：善通寺五岳の里「市民集いの丘公園」→キウイ畑→大塚池古墳→水分（みくまり）神社→出釈迦寺→善通寺五岳の里「市民集いの丘公園」→王墓山古墳→王墓山古墳→宮が尾古墳→ZENキューブ
- ⑧内容：午前には五岳山周辺を歩きながら、なぜ現在山麓でキウイ栽培がさかんのか考えた。午後は有岡古墳群を見学し、古墳に使われている石はどこの石なのかを考えるとともに、なぜ有岡地区に古墳が多いのかを考察した。ZENキューブでは、磨臼山古墳から出土した国指定重要文化財割竹型石棺を見学し、同じ鷲ノ山石で作られている石舟石棺との違いを確認した。

⑨アンケート結果：(図5)

講座は大変満足9名、満足12名、ふつう1名と概ね好評であった。「普段は入れない古墳の中に入れて、大変勉強になった」との感想が多く、関心を深めた受講者が多かったようである。満足いかなかった点は「トイレが少なかったこと」「ジオの話が少なかったこと」が挙げられたため、今後の検討課題としたい。

(6) 小豆島の多様な石の文化（小豆島町・土庄町）

- ①探訪日時：2023年12月10日（日）
- ②受講者数：22名
- ③講師：長谷川修一
- ④ガイド：山口晴司、山西輝美
- ⑤連携：大坂城残石公園、伊喜末八幡神社禰宜 樋本清輝氏

- ⑥お 題：多様な石とは？なぜ、その石はここにあるのか？
- ⑦行 程：高松築港→池田港→池田の棧敷（重要有形民俗文化財）→天狗岩石切丁場跡（岩ヶ谷）→大坂城残石公園→八坂神社（滝ノ宮）→長浜・小江蕪崎海岸→伊喜末八幡神社→池田港→高松港
- ⑧内 容：小豆島で使われている石と石の文化を小豆島の成り立ちを考えながら探訪した。
- ⑨アンケート結果：(図6)

講座は大変満足9名、満足12名、ふつう1名と概ね好評であった。「普段は入れない古墳の中に入れて、大変勉強になった」との感想が多く、関心を深めた受講者が多かったようである。満足いかなかった点は「トイレが少なかったこと」「ジオの話が少なかったこと」が挙げられたため、今後の検討課題としたい。



サヌカイト楽器（坂出市）



滝宮神社（綾川町）



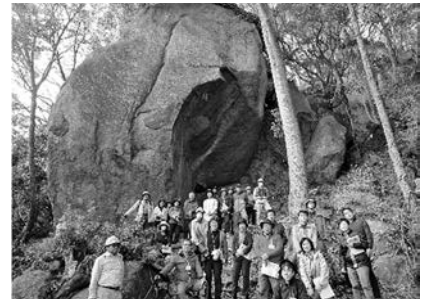
雨滝山びんだらい池（さぬき市）



伊吹島の石垣（観音寺市）



宮が尾古墳（善通寺市）



岩谷丁場跡（三豊市）

写真1 2023年度香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」受講状況

2.3 2023年度香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」

(1) 「讃岐ジオガイド養成講座」の概要

「讃岐ジオガイド養成講座」は、香川県内を案内するジオガイドを養成するために、ジオガイドに必要な専門的な知識の共有、ガイド技術の向上、リスクマネジメント等を学ぶ講座である。讃岐ジオガイド養成講座を4回以上受講すると受講資格が得られ、「讃岐ジオサイト探訪」「讃岐ジオサイト探求」「讃岐ジオガイド養成講座」の授業・現地見学に60時間（12回）以上出席した受講者は、香川大学認定讃岐ジオガイドの資格を得ることができる。今回の受講者は、香川大学認定讃岐ジオガイド5名に加えて、新たに7名が参加し、1月20日、2月18日の2回実施した。令和6年3月、新たに2名のジオガイドが認定され、香川大学認定讃岐ジオガイドは、26名となった。

(2) ガイダンス、ジオパークの概要

- ①日 時：令和6年1月20日（土）
- ②場 所：香川大学地域人材共創センター
- ③講 師：香川大学 長谷川 修一 特任教授
高知大学人文地理学部 新名阿津子 講師
- ④協 力：高知大学人文地理学部3年生8名
- ⑤参加者数：12名
- ⑥スケジュール：
 - 10：00－12：00 ガイダンス・講義：ガイダンス・香川の地質遺産
 - 12：00－13：00 （各自昼食）
 - 12：50 （机移動）
 - 13：00－14：30 ジオパーク概論
 - 14：40－16：00 ワークショップ「綺麗な景色の秘密」
 - 16：00 解散

(3) 香川の地質遺産について考える

- ①日 時：令和6年2月18日（日）
- ②場 所：雨滝自然科学館周辺、さぬき市津田公民館
- ③講 師：香川大学 長谷川 修一 特任教授
雨滝自然科学館 森 繁 館長
- ④スケジュール：
 - 9：50 雨滝自然科学館集合
 - 10：00－12：00 香川の地質と雨滝化石層見学
 - 12：00－13：00 （各自昼食）
 - 12：50 （移動：さぬき市津田公民館 さぬき市津田町津田915番地1）
 - 13：30－16：00 ワークショップ「香川の地質遺産の保全について考える」
（さぬき市津田公民館 働く婦人の家第1講習室）
 - 16：00 解散



写真2 2023年度香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」受講状況（1月20日）

3. 地質遺産の保全と利活用に関するシンポジウム

(1) シンポジウムの概要

香川県は古来より石材の産地で、旧石器時代から瀬戸内を席卷したサヌカイト石器、畿内地方の石棺に使用された鷲ノ山石や火山石、中世の石造物に使用された天霧石、白粉石、火山石、江戸時代に桂離宮の石灯笼等に使われた豊島石、江戸時代初期に大坂城の築城に採石された備讃瀬戸の花崗岩、日本一の石材となった庵治石、皇居の東庭の敷石に採取された由良石、世界を魅了したサヌカイト楽器と、讃岐は世界で類い希な多様な石の文化がある。このように、讃岐の石の文化は石の産業によって発展してきた。

しかしながら、現在、豊島石と由良石の丁場は閉山状態で、鷲ノ山を採石・加工する会社は1社のみとなっている。また、サヌカイト楽器製作の後継者は一人だけとなっている。さらに、日本一の庵治石の石材業も国民の墓離れと安い輸入石材の台頭によって次々と廃業している一方で、県内には、安い外国産の石造物の石材を至る所で使われているという現状がある。

2023年5月に実施されたユネスコ世界ジオパークである山陰海岸ジオパークの再認定審査では、ジオパーク内のミュージアムで化石鉱石などの地質物品が販売されていることが、条件付き再認定の理由の1つになった。香川県内では、庵治石・サヌカイトの加工品の販売を行っており、地質物品の販売はジオパークを目指している讃岐ジオパーク構想にとっても避けて通ることのできない課題である。

このため、令和5年8月28日(月)、地質遺産の保全と利活用に関するシンポジウムを開催し、香川の地質遺産の現状と課題・取り組みについてご紹介いただき、香川の地質遺産をいかに保全しながら持続的



基調講演1
(香川大学 長谷川修一 特任教授)



基調講演2
(兵庫県立大学大学院 川村教一 教授)



パネルディスカッション「香川の地質遺産をいかに保全しながら活用するのか」

写真2 地質遺産の保全と利活用に関するシンポジウム実施状況

に活用していくべきか意見交換を行った。当シンポジウムでは会場参加者数は64名、YouTube動画視聴者は48名であった。

(2) 主催・共催

主催：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

共催：一般社団法人 四国クリエイト協会、香川大学博物館、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会

(3) 内容

①開会挨拶：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 吉田秀典 機構長

②来賓挨拶：香川県教育委員会 海津洋 副教育長

③基調講演1：「香川の地質遺産と保全上の課題」香川大学 長谷川 修一 特任教授

④基調講演2：「地質遺産の保全と利活用」 兵庫県立大学大学院 川村教一 教授

⑤パネルディスカッション：香川の地質遺産をいかに保全しながら活用するのか

コーディネーター 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川 修一

パネリスト 香川県教育委員会生涯学習・文化財課 渡邊誠 主任文化財専門員

さぬき市雨滝自然科学館 森繁 館長

小豆島町商工観光課 川宿田好見 学術専門員氏

株式会社オオクボエンタープライズ 大久保一彦 代表取締役社長

一般社団法人香川県資源研究所 前田宗一 理事長

アドバイザー 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 川村教一 教授

⑥閉会挨拶：一般社団法人 四国クリエイト協会 庵原伸二 企画部長

(4) アンケート結果

アンケート結果（図7）では、地質遺産の価値について、「本来あるものを残す、活用するという意識が薄れているので、もっと広めたい。」「地元に残る地質遺産の価値を理解し、伝えていくことが重要」と香川県の地質遺産を知り、地質遺産の保全について考えるきっかけとなった。

また、「語り部の確保も大切」「課題や要望を集約できる場があるといいと思う」「単なる観光資源にしたのでは荒れる一方だと思う」「地質遺産と社会インフラを結びつけば、国交省の予算で保全コストを賄う幅が広がる」と今後の地質遺産の保全と利活用について、アイデアを得ることができた。

4. おわりに

香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」は多くの人に参加していただき、讃岐ジオパーク構想の理解を広げることができた。来年以降はすそ野を広げる活動は讃岐ジオパーク構想推進準備委員会主催のジオツアーで行い、香川大学では香川大学公開講座「新・讃岐ジオガイド養成講座」を開講し、讃岐ジオガイドの養成に力を入れる計画である。

本年度も讃岐ジオパーク構想推進準備委員会と連携して、てくてく通信（わがかがわ観光推進協議会主催）掲載の「ジオで巡るツアー」を実施し、東讃地域：遍路道in多和（5月21日、3月9日を予定）、引田（6月18日）、大串半島（10月22日）、嶽山周辺（11月26日、27日）、小豆島地域：寒霞溪（6月10日）、中山千枚田と肥土山周辺（10月14日）、高松市地域：女木島（5月20日）、鬼無（11月11日）、中讃地域：

飯野山(5月20日)、ライトツアー桃(7月22日)、佐柳島(10月15日)、土器川旧河道(12月2日)、宇多津古街(1月21日)、西讃地域:ほうなん梨(4月16)、天空の鳥居(11月12日)のガイドを行った。リピーターも多く参加するようになり、讃岐ジオパーク構想の新たな発信の場となってきた。嶽山は三木町観光協会のイベントであるMiki Green Out Meeting と連携したツアーを行い、新規の参加者にも興味をもってもらうことができた。今後、「ジオで巡るツアー」に食を取り入れたツアー等も取り入れ、付加価値のあるジオツアーを提供してしたい。

【参考文献】

- 1) 日本ジオパーク委員会: <https://jgc.geopark.jp/whatsgeopark/index.html> (2023.1.30閲覧)
- 2) 日本ジオパークネットワーク: <https://geopark.jp/geopark/> (2023.1.30閲覧)
- 3) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」活動報告, 香川大学生涯学習教育研究センター研究報告, 第19号, 2014.
- 4) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」活動報告(その2), 香川大学地域連携・生涯学習教育研究センター研究報告, 第24号, 2019.
- 5) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学生涯学習教育研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」, 2013.
- 6) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探求」活動報告, 香川大学生涯学習教育研究センター研究報告, 第22号, 2017.
- 7) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」活動報告, 香川大学生涯学習教育研究センター研究報告, 第23号, 2018.
- 8) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」活動報告, 香川大学地域連携・生涯学習教育研究センター研究報告, 第25号, 2020.
- 9) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告, 香川大学地域連携・生涯学習センター研究報告, 第26号, 2021.
- 10) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告(2), 香川大学地域人材共創センター研究報告, 第27号, 2022.
- 11) 長谷川修一・鶴田聖子: 香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」と「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」の連携活動報告(3), 香川大学地域人材共創センター研究報告, 第28号, 2023.

2023. 4. 23

香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「サヌカイト」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 13

満足 4

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・楽器演奏(5)
- ・けいの里がよかった(2)。
- ・けいの里の前田さんの説明がよかった(2)。
- ・けいの里での説明、楽器の演奏がよかった。歴史の説明も面白かった。
- ・けいの里、面白かった。演奏がよかった。
- ・分かりやすく丁寧な説明だった。
- ・サヌカイトの色々がよく分かった。
- ・金山にはあんなにたくさんサヌカイトが取れているんだ、今でも。
- ・サヌカイトのことがよく分かった。
- ・サヌカイトからできた楽器を知り、それを使ったコンサートもあり大満足。
- ・金山神社の歴史も初めて知った。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 9

良かった 3

4. どのジオサイトがよかったですか？

・けいの里 3

・狛犬 2

・けいの里で歴史の説明を受け、通説と異なる話が聞けた。

・金山とけいの里

5. お題「なぜ金山はサヌカイトの里になったのか？」は適切でしたか？

はい 14

6. 改善点

・スケジュールがきつかった。坂出ー高松移動で90分かかった。

7. 自由筆記

- ・電車利用のジオ探訪いいです。
- ・サヌカイト楽器に触れることができ楽しかった。
- ・金山には登ったことがあったが、今回色々なサヌカイトを知れてよかった。
- ・金山には来たことがあったが、けいの里のことは知らなかった。とても興味深いことを知れてよかった。
- ・西に金見山という山があります。金見山もサヌカイトと関係があるのかなと思った。
- ・サヌカイトの音色が素晴らしかった。
- ・ヒーリングミュージックとして様々な場所で使われることをのぞむ。2025大阪万博でもぜひBGMとして使用してほしい。サヌカイトコーナーがあればと思う。

8. 備考

・日時：令和4年4月23日(日)晴天

・協力：けいの里 前田宗一氏

サヌカイト演奏 林千景氏

・協力ジオガイド：

山本和彦氏、大川義明氏、山下直樹氏

今岡幹典氏、宮崎誠司氏、山西輝美氏



図1 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」(サヌカイト) 受講者アンケート結果

2023. 5. 14

香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪「古墳時代の石棺から近代化遺産までの
鷺ノ山石の文化」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 11
満足 8
ふつう 1

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・鷺ノ山はよく前を通っていたが、そんな歴史があったとは驚きだった。
- ・鷺ノ山石が見分けられるようになった。狛犬のかわいらしさに魅了された。
- ・鷺ノ山丁場を見れた。
- ・鷺ノ山石のことがよく理解できた（石の特徴、歴史）
- ・街なかを歩くことで街のよさや、鷺ノ山石が利用されている古い石造物をしっかりと見ることができた。古代から石が使われていたことでその文化、技術の高さが分かった。
- ・鷺ノ山石丁場、工場の見学と社長と息子さんからの話を伺えた。
- ・古墳時代、棺の石材として貴重品とされた鷺ノ山石の現場が見れた。
- ・香川県の石に関する歴史、文化、石工たちの苦勞がよく分かった。特に讃岐の石材を当時の朝廷や高官が重宝されていたことに感動した。
- ・地元に住んでいながら鷺ノ山石のことは全く知らなかった。現地を見ながらたくさん鷺ノ山石のことに触れ見て勉強になった。この文化を伝えて、残していけることを願う。
- ・丁場に入れたことがありがたかった。
- ・説明が鷺ノ山石の話だけでなく、歴史の話も聞けて大変面白かった。
- ・鷺ノ山丁場見学、柱状節理見学、春日神社
- ・ガイドさんの説明が分かりやすかった。
- ・鷺ノ山石の文化の伝統（古墳時代～）とそれが畿内まで使われていることや、綾川地区の人々の生活の中で役立っていることを知り、大変満足している。
- ・歴史と石の関係の組み合わせが興味深かった。
- ・歴史の説明は大変良い。

満足できなかった点：

- ・歩く距離が長い。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 9
よかった 9
ふつう 1

4. どのジオサイトがよかったですか？

- ・滝宮神社・天満宮
- ・鷺ノ山丁場(8)
- ・春日神社
- ・滝宮に残る石造物
- ・鷺ノ山石の歴史
- ・鷺ノ山について
- ・どの説明もよかった(2)。マイクの声も通り、内容も

分かりやすかった。

5. お題「古代の鷺ノ山石はなぜ近代に復活したのか？」は適切でしたか？

はい 16
いいえ 1
わからない 3

(案1) 古代（古墳時代）から近代（明治）まであまり使用されなかったのはなぜだろう？

(案2) 生活に密着している石文化

6. 改善点

- ・お題の「なぜ」の部分をもう少し掘り下げたい。
- ・ガイドさんたちの説明の時間管理とそれぞれの説明の焦点の整理
- ・鷺ノ山石、山の形成に関わるジオ的な話をもっとあればと思った。
- ・説明の時間配分
- ・石棺が全国にどのように広がったのか、地図で知りたかった。
- ・多少去年のうどんとかぶっていましたが、よかったです。
- ・狛犬の話はマニアックすぎるのでは？

7. 自由筆記

- ・柱状節理がこんな身近にあるとは知らなかった。
- ・地元の奥深さ、面白さを再発見してよかったです。鷺ノ山石材の8代目にがんばってもらって次代につなげてもらいたい。
- ・鷺ノ山石のすばらしさが広く知られるとよいと思った。
- ・うどんだけでなく、古代より続く石の文化をもっと広く伝えることが大切だと思った。
- ・ジオガイドさんの話はいつもよくわかり、新たな知識を得ることができる。
- ・柱状節理の原理が改めてよく分かった（説明の図がよかった）
- ・ガイドの皆様の丁寧で分かりやすい説明、ありがとうございました。
- ・前回の「けいの里」前田氏や今回の兎子尾氏のように一般の人が入れないところにも案内してくれてとても良い会になった。長谷川先生のおかげです。
- ・ガイドさんがみんな分かりやすく、1日が短かった。
- ・昼の移動時間をもう少し取ってもらえると昼食にうどん屋を利用できる。

8. 備考

- ・日時：令和4年5月14日（日）曇
- ・行程：高松市国分寺 B&G 海洋センター体育館駐車場→石船天満宮・石舟石棺→鷺ノ山丁場→鷺ノ山石材商会→春日神社の石造物→高松市国分寺 B&G 海洋センター体育館→綾川町役場駐車場→滝宮天満宮→滝宮神社→琴電綾川橋梁滝宮公園、滝宮橋→綾川町役場
- ・担当ジオガイド：
今岡幹典氏、宮崎誠司氏、山西輝美氏、山下直樹氏

図2 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」（古墳時代の石棺から近代化遺産までの鷺ノ山石の文化）受講者アンケート結果

2023. 6. 4
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪

「雨滝山・火山(ひやま)と中世の火山(ひやま)石の文化」受講者アンケート(結果)

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 11
満足 11
ふつう

- ・山歩きはハードだった。
- ・山登りは雨上がりで不安だったが、ゆっくり全体のペースを見てくださり、安心して下山できた。
- ・とても興味深い話ばかりだった。

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・雨滝自然科学館で詳しい説明があった(2)。
- ・火山石の文化の流れがよく分かった。
- ・ガイド、森先生の説明が的確でわかりやすかった。
- ・変化のある地形・地質の学習ができた。
- ・雨滝山の化石(2)
- ・石棺にも驚ノ山石、火山石と違いがあること
- ・火山に上り、実際に岩を見たこと
- ・山中を歩きながら、花崗岩の上に凝灰岩、安山岩がどのように重なっているか見学できた。

満足できなかった点：

- ・もう少し化石の説明を聞きたかった。
- ・説明が少ない。
- ・自分の興味を超えてしまう説明もあった。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 11
よかった 10
ふつう

4. どのジオサイトがよかったですか？

- ・西教寺奥の院(3)
- ・どの説明もよかった(3)
- ・雨滝自然科学館の化石層をまじかに見れた。(2)
- ・雨滝山の細やかな地層
- ・雨滝自然科学館
- ・摩崖仏：凝灰岩の特徴がよく分かった。
- ・火山：歩きながら石の違いがよく分かった。
- ・火山～石仏～びんだらい池
- ・雨滝化石層の説明
- ・山の中の散策

5. お題「古墳時代の石棺に使われた火山石は白粉石か？」は適切でしたか？

はい 20
いいえ 1 *雨滝関係(地質・地層)のお題はどうか
わからない 1 *古墳時代の石棺に使われたのはどの石か？

6. 改善点

- ・資料が電子ファイルがあればいい。
- ・一度に説明するには人数が多い。

7. 自由筆記

- ・白粉石を具体的に
- ・自分の運動不足を感じた。
- ・屋に駐車場に戻ってこれるのがありがたかった。

8. 備考

- ・日時：令和5年6月4日(日)晴れのち曇り
- ・協力：
雨滝自然科学館(森繁館長)
さぬき市教育委員会
さぬき市歴史民俗資料館
- ・担当ジオガイド：
岡田武久氏、亀井満夫氏、松岡太氏



火山：びんだらい池



西教寺奥の院：摩崖仏



雨滝化石層

図3 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」(雨滝山・火山と中世の火山石の文化) 受講者アンケート結果

2023.10. 8

香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪
『伊吹島の石の文化』受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 17
満足 6

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・イリコのお土産 (4)
- ・説明が大変的確だった。(2)
- ・説明が分かりやすかった。(2)
- ・民俗資料館の三好さんの説明で歴史もよく分かった。(2)
- ・実験がとてもしばらしく、わかりやすかった。
- ・伊吹島のことを情熱をもって説明してくれ、熱意が伝わった。
- ・伊吹島のジオを初めて知った。
- ・ジオ以外にも歴史・文化・食・生活と幅広く教えてもらえた。
- ・模型を使った説明が分かりやすかった。
- ・瀬戸芸で来た時と違って、ジオの視点で伊吹島をみる事ができた。
- ・前回瀬戸芸で伊吹島に来たが、今回は全然違う文化・地形が勉強できた。
- ・伊吹島で暮らしてきた人々の苦労もよく分かった。
- ・歴史と暮らしが理解できた。
- ・生活や苦労をジオの観点から説明していただいた。
- ・三好兼光さんのアクセントの話、イリコの話が特によかった。
- ・酸化鉄を含む崖が圧巻で、屋島との違いがよくわかった。
- ・中身の濃い話が多く、面白かった。以前一度来たときは加工工場見学と歴史でしたが、今回オの視点で巡ってよかった。
- ・岩盤の島としての苦労と人々の生活の工夫がよく分かった。
- ・メサ地形、歴史とイントネーション
- ・モデル実験がよくできていて、赤崎の成り立ちが視覚的に理解できた。
- ・食（イリコ）とジオが関連していたことが理解できた。
- ・伊吹島を深く知ることができた。

満足できなかった点：

- ・石門等がみたかった。
- ・もっと時間があればよかった。
- ・アサキマダラがまだだった。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 16
よかった 6

4. どのジオサイトがよかったですか？

- ・赤色安山岩 (12)
- ・平井の井戸 (2)
- ・民俗資料館 (5)
- ・実験 (4)

- ・伊吹島の歴史
- ・イリコ加工工場
- ・埋め墓
- ・全体にとてもよかった

5. お題「岩盤と闘ってきた伊吹島の歴史」は適切でしたか？

はい 18
いいえ 1
わからない 1

* 質問系にしたほうがいいのでは？

伊吹島の人たちはいかに岩盤と闘ってきたのか？

6. 改善点

- ・パネルが大きい方がよい。(2)
- ・せっかく島に来たのに、時間が少ない。
- ・駐車場から車で港に行くなら、市民会館か市役所の方が分かりやすかったのでは？
- ・道が狭く 20 名以上になると説明が聞き取りにくい。

7. 自由筆記

- ・いつも身近にみている伊吹島の歴史や様子がわかった。
- ・身近な伊吹島のことがとてすごい歴史・文化を持っていることを知り、魅力を感じた。
- ・地面を掘っても水がでない伊吹島の苦労、大変さを知りました。
- ・美味しいイリコのお土産、ありがとうございました。
- ・最初の火砕流の実験で、最後の赤色安山岩が理解しやすかった。
- ・イリコのおいしさに感動した。
- ・ガイドの皆様の熱い伊吹島愛を感じた。瀬戸内の島は本当にいい。ガイドの想いが見る人の心に感動や郷土愛を届ける。
- ・準備ありがとうございました。
- ・全体が火山だったことにびっくりした。
- ・民俗資料館に色々集めているのがよかった。今後どうやって守っていくかが課題。
- ・初伊吹島。大変面白く、解説もよくわかった。
- ・時間に余裕があれば、船にのって海から伊吹島をみたい。
- ・もう 1 本早い船に乗っていたら、鉄砲石に行けたかもしれない。

8. 備考

- ・日時：令和 5 年 10 月 8 日（日）曇り一時雨
- ・協力：伊吹島研究会 三好兼光氏
網元 カネジュ水産
- ・担当ジオガイド：前川久則、篠原五良

図4 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」(伊吹島の石の文化) 受講者アンケート結果

2023. 11. 19
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪
『中世天霧石の文化』受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 9
満足 12
ふつう 1

いいえ

わからない

- ・キウイなど果樹栽培・・・とすればよかった。
- ・王家の墓なのか？古墳が多いから地方豪族の古墳では？

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・普段は入れない古墳の中に入れて、大変勉強になった。とても面白かった。
- ・午前の部もいつも通りよかった。午後から古墳の中もガイド付きで見学できたのもよかった。ジオとのつながりがよく理解できた。
- ・古墳の中を特別に見ることができてとてもよかった(8)
- ・午前の部の大地の変遷を見ることができてよかった。
- ・地形とその利用のわけがよく分かった。
- ・風はあったが、秋晴れの山を歩くことができて気持ち良かった。
- ・石についてあまりわからなかったが、石棺や古墳内の石積み等の話を聞いたり見たりして、少しずつ関心が持てた。
- ・午前中、歩くことで地形や周りの土地の様子をみることができた。普通寺市、丸亀市まで広く見渡すことができた。
- ・前半の内容は現地をゆっくり見て、理解できた。
- ・古墳の上ののぼったり、中に入ったりして、とても貴重な体験ができた。
- ・普通寺市の学芸員の話が聞けた。
- ・お題の謎解きがわかりやすくてよかった。
- ・石室の構造や使用されている石材を学ぶことができた。

満足できなかった点：

- ・トイレが少なかった。
- ・ジオの話をもっとしてもらいたかった。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 11
よかった 11
ふつう 1

4. どのジオサイトがよかったですか？

- ・出釈迦寺上部の露頭
- ・全部 (3)
- ・両古墳 (4)
- ・王墓山古墳 (2)
- ・普通寺五岳
- ・扇状地を農地にする努力。
- ・みなさん工夫されて大変わかりやすい説明だった。
- ・古墳の詳しい話

5. お題「なぜ五岳の丘付近はキウイ栽培がさかんのか/なぜ有岡地区は王家の里になったのか？」は適切でしたか？

はい 24

6. 改善点

- ・王墓山古墳の順番待ちの時間をもっといらないと思った(2)。
- ・説明をみんなが揃ってから行ってほしい(2)。

7. 自由筆記

- ・昼に駐車場に戻ってくるコースは、弁当を持ち歩かなくてよいのでありがたい。
- ・古墳の方のお題の答えがなかった。
- ・今回のコースは道のりもかなり楽だった。
- ・出釈迦寺の鐘つき堂の位置が少し変だなと思った。

8. 備考

- ・日時：令和5年11月19日(日) 晴れ
- ・協力：普通寺市教育委員会 松浦暢昌学芸員
- ・担当ジオガイド：
都築克徳、山本和彦、山下直樹、鈴木一伸、岡本幸晴



山麓のキウイ畑



水分神社の石造物



尾根を形成する土石流堆積物



出釈迦寺からの眺望



王墓山古墳



宮が尾古墳

図5 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」(中世天霧石の文化) 受講者アンケート結果

2023. 12. 10
香川大学危機管理教育・
研究・地域連携推進機構

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪
『小豆島の多様な石の文化』受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？

大変満足 18
満足 6
ふつう 1

2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・小豆島全体を石の文化の特徴に沿って巡ることができた。
- ・海岸歩きは大変だったが、珪化木を拾えてよかった。
- ・弁当を手配してくれたので、持ち歩く必要がなく大変ありがたかった。
- ・島一周できた。
- ・小豆島が多様な石でできているのが見て回ることよくわかった。
- ・様々な知識が身についた。
- ・小豆島の成り立ちと多様な石文化がよく分かった。滝宮と豊島のつながりなど知らなかったところがたくさんあった。ほかの地域にも参加したい。
- ・地層の見学と併せて、現場での説明がよく分かった。
- ・天狗岩の大きさに感動するとともに石工たちの切り出しの力量（力と知識）の豊かさに敬服した。AIに勝るとも劣らず。
- ・説明が分かりやすく詳しかったのでよく理解できた。海岸で珪化木を探したとき、崖の地層がよくわかり、迫りに圧倒された。
- ・石を巡って小豆島を一周でき、大変勉強になり楽しめた。
- ・解説と実地がありよくわかった。
- ・小豆島の地層の理解が深まった。
- ・地層と石については十分説明があったのでよくわかった。
- ・説明が詳しく深く、しかもわかりやすかった。

満足できなかった点：

- ・地層の変化を口で説明するのではなく、図で変化を示した方が分かりやすく記憶に残る。
- ・残石公園での時間がなくて、ゆっくり展示が見れなかったのが残念。
- ・マイクを通さず説明すると、後ろまで聞こえない。
- ・時間に追われてじっくりとはいかなかった。
- ・石の文化と産業についてもっと知りたいと思った。

3. 案内はよかったですか？

大変良かった 13
よかった 10
ふつう 1

4. どのジオサイトがよかったですか？

- ・天狗岩石切丁場跡（10）
- ・蕪崎の海岸（6）
- ・蕪崎の海岸の地層、珪化木の原石に感動した。
- ・土庄層の見学
- ・狛犬（2）
- ・神社

- ・すべてよかった（3）。
- ・天狗岩石切丁場は現地をあるいて、ゆっくり話も伺えたので印象深かった。
- ・天狗岩石切丁場跡は昔の石工たちが苦勞して巨石を切り出している跡が見れて勉強になった。

5. お題「多様な石とは？なぜ、その石はここにあるのか？」は適切でしたか？

はい 23
いいえ
わからない 1

6. 改善点

- ・1つ1つの石がどこの石かはどちらでもよく、地形が変化してこうなったということを経験に残る様（ビジュアルに）示してほしい。
- ・説明はみんなが集合してから話してほしい。
- ・豊島石の勉強をしていなかったのかわからなかった。カタカナの名前で何かわからない言葉があった。
- ・時々マイクのスピーカーが切れていたのか、話が聞こえなかったのが残念だった。
- ・小部付近の採石場の写真が撮れるように、バスに停車してほしい。

7. 自由筆記

- ・お土産までいただきありがとうございました。
- ・お土産をいただきうれしかった。
- ・バス利用で小豆島一周できて、とてもよかった。
- ・貸し切りバスツアーよかったです。
- ・小豆島の成り立ちを教えてください、4000 万年前の地質の動きが今をつくり、歴史を支えていることを再び感じ入った。師走の小豆島を一周プチ旅行。自然を満喫した。
- ・なかなか個人で島の中を巡る機会がないので、個人ではいけないところ（吉田の岩場等）を見学できる機会があればよい。
- ・バスで巡る企画は初めて参加したが、今回のような探訪もよいと思った（遅れたり迷子になる人もいなかったのも good）
- ・今年は石に焦点を当てた講座だったので「石とジオ」その土地の人々の生活などの関連を考えることができ深く学習できた。
- ・小豆島の新たな楽しみが知れてよかった！！
- ・神社の境内にあまり大きくなりそうにない種類の巨木（イヌキ、クワガネ子）があって驚いた。
- ・幕の内弁当、安くてボリュームがありおいしかった。
- ・ガイドの方々にはいつもすばらしいと思っています。

8. 備考

- ・日時：令和5年12月10日（日）晴れ
- ・協力：伊喜末八幡神社禰宜 樋本清輝氏
道の駅大坂城残石公園
土庄町地域おこし協力隊 森亜紀子
小豆島交通(株)
- ・担当ジオガイド：山口晴司、山西輝美

図6 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」（小豆島の多様な石の文化）受講者アンケート結果

2023. 8. 28

地質遺産の保全と利活用に関するシンポジウムアンケート結果（会場）

（回答数 37 件）

1. 参加者年代

20代 1名
 30代 2名
 40代 5名
 50代 6名
 60代 15名
 70代以上 6名

2. 性別

男性 34名、女性 3名

3. 住所

高松市 17名
 丸亀市 2名
 善通寺市 1名
 さぬき市 3名
 東かがわ市 2名
 三豊市 1名
 小豆島町 1名
 三木町 4名
 琴平町 1名
 まんのう町 1名
 徳島県 1名
 高知県 1名

4. 職業または所属

公務員・団体 8名
 研究・教育機関 1名
 会社員 16名
 讃岐ジオ 7名
 その他 2名
 （防災士）

5. シンポジウムの満足度

大満足 7名
 満足 24名
 普通 2名

6. 基調講演1の満足度

大満足 9名
 満足 24名
 普通 2名
 やや不満 2名

7. 回答理由

- ・ジオを知る・楽しむだけでなく、保全の必要性があることが理解できた。
- ・遅れてきたので講演はあまり聞けなかったが、資料を見るだけでも面白かった。ユネスコの保全目的と地域の目指すものの違いに気づかされた。
- ・ジオパーク、ジオストーリー、ジオサイトへの

理解が深まった。

- ・讃岐の地質遺産の話がよかった。
- ・地質遺産の課題が少しわかった。
- ・平易な言葉とわかりやすい説明がよかった。
- ・もっと多くの話を聞けるとなおよかった。
- ・難しいですが、何度も聞きたいと思った。
- ・内容と時間のバランスがよかった。
- ・時間に対して内容が多いように感じた。
- ・簡潔な説明で分かりやすかった。

8. 基調講演2の満足度の理由

大満足 7名
 満足 26名
 普通 2名
 やや不満 2名

9. 回答理由

- ・地質遺産の定義がよくわかった。
- ・それぞれに目指すところが違い、必要なもののが何かわかりやすく伝わった。
- ・教育・保存・商業それぞれの目線で必要なものを考え、地域が育つように考えていきたい。
- ・遺産とは何か？正しい理解を得られた。
- ・IUGS について、ヘリテイジストーン、エコパークのことが分かった。
- ・遺産石材の話がよかった。
- ・地質遺産、遺産石材の定義、玄武洞の話が興味深かった。
- ・地質遺産の理解が深まった。
- ・もう少し時間が欲しかった。
- ・事例の資料があればなおよかった。
- ・講演資料と内容の順序と配分がよかった。
- ・内容はよかったが、資料集の内容と実際の表示パワーポイントに差がありわかりにくかった。
- ・時間に対して内容が多いように感じた。

10. パネルディスカッションの満足

大満足 14名
 満足 19名

11. 回答理由

- ・各自の立場での具体的な思いがひしひしと伝わった。
- ・パネリストの熱意が伝わるディスカッションだった。
- ・パネリストからの熱い思いが聞けてとても感動した。これを広くPRしていくことが課題。
- ・各ジャンルの実践が聞けて参考になった。
- ・会場からの質問コーナーがあるとよかった。
- ・石の島の活動内容が前向きでいいなと思った。
- ・各地域や団体の取り組みや考えを知ることができた。

図7-① 「地質遺産の保全と利活用に関するシンポジウム」受講者アンケート結果1

2023. 8. 28

- ・川宿田さんの説明が明確だった。森さんの話は興味深かった。
- ・守り方、活かし方多方面の話を聞いて勉強になった。
- ・様々な取り組みを知ることができた。
- ・活動の課題は何か？納得できる内容だった。ほかのどの場所でも活用できる。
- ・香川県内でのいろいろな取り組みに努力されているのに感心した。
- ・日頃聞くことのできない興味深い情報が多かった。
- ・どれも具体的な話で分かりやすかった。
- ・皆さんの取り組みをもっと聞きたかった。
- ・多視点でお話を聞くことができた。

12. 地質遺産の保全の重要性の理解

よく理解 16名
理解 17名
普通 2名

13. 回答理由

- ・「本来あるものを残す、活用する」という意識が薄れているので、もっと広めたい。
- ・地元に残る地質遺産の価値を理解し、伝えていくことが重要。
- ・ほかの領域とのコラボや協働が必要であることが理解できた。
- ・利活用が中心のディスカッションだった。
- ・保全と利活用、相反する課題をどのように調整していくか？法で規制ではなく、教育によって広げていく。
- ・説明してくれるとよく理解できた。
- ・実際に苦勞されている方たちの話なので、具体的によくわかった。
- ・パネリストの方からの話がそれぞれの立場で理解できた。子どもの時からの意識づけが大事。
- ・地質に限らず、守る、教育するに大切さを感じた。
- ・ジオ関係の人材育成の重要性
- ・長谷川先生が頑張るのではなく、地域への展開を急ぐ必要がある。ガイドの養成も必須。希望者はたくさんいると思う。
- ・今まで見聞きした石の話が結びついた気がし
- ・パネラーの方の考え方がよく理解できた。伝え方をどうするのかをテーマの議論が聞いてみたい。
- ・学生時代、大学の先生が「高校で地学の授業をする学校・先生が減っている」と言っていた。そういうところから、地形・地質に触れる機会が減っていると思う。
- ・若手、後継ぎと言っていたが、本日のシンポジウムの参加者は年配者ばかりだった。
- ・少しづつの積み上げが大切。
- ・皇居東庭の由良石。せめて改修時には県をあげて業務を行うことはできないのか？

- た。
- ・地質遺産は存在価値や防災など人が生きていく上で重要な情報であると思う。

14. アイディア

- ・語り部の確保も大切。
- ・課題や要望を集約できる場があると思う。
- ・単なる観光資源にしたのでは荒れる一方だと思う。
- ・地質遺産と社会インフラを結びつけ、国交省の予算が保全、利活用にも使えるようになると、保全コストを賄う幅が拡がることにつながる。
- ・難しいことをわかりやすく言葉にすることが大切
- ・子供ガイドの育成→瀬戸芸やアート目的の旅行者などへのガイド→子どもの学び、シビックプライドの醸成
- ・子どもたちへの教育に加え、地元の大人の方々への教育も必要だと思った。室戸のすし屋の大将が伝えてくれたとの話があったが、地元の方から周りの方へ伝えるという流れもあると思った。わかりやすい言葉、資料で伝えていくことが重要。
- ・ジオツアーをすべての人が体験できるような施策とガイドの育成。
- ・「寄ってたかって地域を盛り上げる」ことは大切。
- ・まずは天然記念物、自然記念物、産業遺産など状況をみて整理する。
- ・スタンプラリーを提案する。
- ・ヒト・モノ・場所・などを活用することは、教育・観光面で重要。
- ・自然体験、ツーリズムを通じての体験学習が学校教育に必要、自由研究、夏休みの学習
- ・生活の密着度をより分かりやすい事例で示してもらえれば、一層身近に感じることができないではないか？

15. 自由筆記

- ・地質、自然、歴史、文化、食、暮らしを横につなぎ、話せる人（ガイド）が案内するのが大事だと思った。
- ・現地に説明版が欲しい。
- ・実りあるパネルディスカッションだった。高校生の現地学習が決まってよかったですね。
- ・どうやればこちらを向いてもらえるか、好きな人をより伸ばすことができるのかを考えていきたい。
- ・大変参考になった。
- ・パネリストから人とのつながりを聞いて良かった。安心した。

図7-② 「地質遺産の保全と利活用に関するシンポジウム」受講者アンケート結果2